

第 117 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 8 月 12 日(木) 13：15～14：15

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ 各部局発案の感染拡大抑制等プロジェクトについて、全庁をあげて対策を実施することを確認した。また、沖縄県対処方針の変更について決定した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、小林 県警本部警備部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 技監兼保健衛生統括監、テレビ会議システム利用：木村宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 8/11 の新規発生は 638 名、合計 30,043 名、入院中 643 名、うち重症 17 名、うち中等症 489 名、入院調整 1,932 名、宿泊施設療養中 269 名、自宅療養 1,940 名で療養中患者計 4,840 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 8/11 時点、米軍基地内で 21 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、新規 PCR 検査の陽性率は、第4段階にあり、医療のひっ迫が続いている。
 - ✓ 感染経路不明な症例の割合は第3段階にある。
 - ✓ 国の判断指標でも、療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、PCR 陽性率、入院率の項目がステージIV相当となっている。
 - ✓ 非コロナ病床の利用率は94.2%となっている。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数は、246.84で、全国ワースト1位の状況。
 - ✓ 各保健所管内の新規感染者数比較について、全管内で増加傾向にあり、特に那覇、中部、南部では大幅に増加している。
 - ✓ 市町村別の人口10万人あたりの新規陽性者数で見ると、本島の市町村だけでなく宮古島市、石垣市でも100.0を超えており、全県的に流行が拡大している。
 - ✓ 濃厚接触等の理由により休業している医療関係者が増えており、医療への影響が懸念される。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市は2カ所が稼働しており、それぞれ91人、85人、合計176人が療養している。
 - ✓ 他の地域については、北部で30人、宮古で30人、八重山で39人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzer による分析結果を報告。
 - ✓ 空港エリア、繁華街エリア、商業エリアの全て人流の減少が確認されている。

(6) クラスターの発生状況について

- 時間の都合上、説明を割愛。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 宮古地域では、感染者の約9割を20代から30代の若年層が占めている。また、職業別で見ると、飲食業、観光業に従事する人の感染が多いことから、関係団体に対し注意喚起を実施している。
 - ✓ 宮古地域において地方本部会議を開き、宿泊療養施設の選定、療養体制の確認、在宅療養の支援体制を確認したところである。
 - ✓ 地方本部会議において、若者のワクチン接種が伸び悩んでいることについて意見があったことから、市及び医師会と連携しながら副反応に対する正しい情報提供を行うこととしている。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山地域では、8/7～8/11にかけて92名の感染者が確認されており、前の週より大幅に増えている。
 - ✓ 感染経路については、不明・調査中を除くと家庭内感染、職場・会食での感染が多く、大人が家庭に持ち込んでいると思われることから、大人に対する啓発を検討しているところである。
 - ✓ 八重山地域でも若年層のワクチン接種が伸び悩んでいることから、市・関係機関と連携しながら、ワクチン接種に関する啓発を進めているところである。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
 - ✓ 8月第2週は、308件の検査を実施したところ、その内269件がL452R（デルタ株）陽性であった（87.34%）。

(9) PCR検査事業の状況について【資料8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ エssenシャルワーカー定期PCR検査の実績について、8/2～8/6は、介護関係者9,812人が受検した結果、4人が陽性であった。また、障害者施設関係者2,293人が受検した結果、2人が陽性であった。保育施設関係者については、陽性者は確認されなかった。
 - ✓ 安価なPCR検査補助の実績について、7/30～8/5は13,892人が受検した結果、陽性者389人、陽性率2.80%であった。
 - ✓ 飲食店検査の実績について、7/31～8/6は332人が受検した結果、陽性者37人、陽性率11.14%であった。
 - ✓ モニタリング検査の実績について、8/2～8/8は、492人が受検した結果、陽性者は0人であった。
 - ✓ 学校PCR検査の実績について、7/31～8/6は2,548人(76校)が受検した結果、陽性者32人、陽性率1.26%であった。

(10) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料9-1～9-3】

- 総括情報部から、住民向け進捗状況等について報告。
 - ✓ 高齢者については272,422人(84.2%)が1回目のワクチン接種を完了しており、250,863人(77.5%)が2回目のワクチン接種を完了している。

- ✓ 全住民（医療従事者含む）で、1回目のワクチン接種を完了した人は557,665人（37.6%）。また、2回目までワクチン接種が完了した人は403,930人（27.3%）となっている。
- ✓ 職域接種については、8/11時点で、申請44件、県承認44件、国承認20件となっている。
- ✓ アストラゼネカ製のワクチンについて広域ワクチン接種センターでの接種を調整中である。対象者は、①アレルギーのため mRNA ワクチンの接種ができない者、②海外でアストラゼネカ製のワクチンを1回接種した者、③その他接種を希望する者（40歳以上）。

（11）空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの運用状況等について【資料10】

- 文化観光スポーツ部から、空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの状況について報告。
- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、8/2の週の実検者は3,194名で、その内34名が陽性であった。
- ✓ 空港PCR検査に協力していただいている医療機関の逼迫のため、確認された陽性者情報の保健所への連絡が遅れている事例があることから、協力医療機関の拡充を検討している。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、8/2の週の実検者は1,365名で、その内5名が陽性であった。
- ✓ TACOについて、8/2の週のサーモグラフィー通過者は134,780人で、その内発熱者は0人であった。
- ✓ RICCAについて、8/2時点の登録者数は108,480人となっている。

(12) 緊急事態宣言下の取組について

- 議題(1)「感染拡大を抑え込むための対策について」で取り上げるため、説明を割愛。

(13) 各部局の取組状況等について

- 議題(1)「感染拡大を抑え込むための対策について」で取り上げるため、説明を割愛。

(14) 沖縄県新型コロナワクチン接種基本方針について

- 総括情報部から、令和3年8月11日付けで策定された「沖縄県新型コロナウイルスワクチン接種基本方針」について報告。

◆ ワクチン接種の目的

- ✓ 新型コロナウイルスによる感染を抑え込み、安心安全な沖縄を1日も早く取り戻し、県民生活と経済に活気を取り戻すため、感染症対策の最大の切り札となるワクチン接種を早急に行う。

◆ ワクチン接種完了の目標

- ✓ ワクチン接種を希望する高齢者へのワクチン接種を令和3年7月末までに完了する。
- ✓ ワクチン接種を希望する全ての県民に対するワクチン接種を令和3年11月中に完了する。そのため、遅くとも10月末までに、全人口の70%に当たる104万人に対する1回目の接種を目指す。

◆ 目標に向けた県の取組

- ✓ 市町村に対する支援として、ワクチン・補助金の確保の支援、接種会場・医療従事者確保の支援、広域的な調整、専門的相談コールセンターの設置運営等を行う。

- ✓ 広域ワクチン接種センターを設置運営し、市町村が行うワクチン接種を補完するほか、県全体のワクチン接種を加速化させるため、県民が安心安全な日常生活及び教育活動を営む上で重要な業種等への接種の推進を図る。
- ✓ 職域接種を検討している事業者に対し、申請等への助言・指導を行う。

(15) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告
 - ✓ 8/12時点の県立病院の入院患者数は188人となっている。
 - ✓ 急増する新型コロナウイルス感染症に対応するため、県立病院はコロナ病床確保や救急医療を中心とした診療体制へのシフト検討している。
 - ✓ 県立病院における新型コロナ病床については、281床から292床に増設したところである。
- 総括情報部から、飲食店関連の発生状況、移入例の状況について報告。【資料11-2, 11-3】
 - ✓ 8/1の週は、飲食関係が推定感染源である陽性者が220人確認されている。
 - ✓ 飲食店関係が推定感染源である事例は、7月以降、急激に増加している。
 - ✓ 8/3の週の移入例の陽性者数は68人であり、内訳は、県外来訪者41名、県民往来19人、県外からの来訪者との接触者8名となっている。
 - ✓ お盆が近いことから、移入例の増加に注意が必要である。

(報告(1)～(15)に関する発言等について)

- ✓ 那覇市の宿泊療養施設の1つを8/10から休止している理由について質問があった。
→総括情報部から、8/12に沖縄市に開設する宿泊療養施設にスタッフを充てるため、那覇市の1施設を休止していることを説明。
- ✓ 感染者の急増に対応するために、1施設でも多くの宿泊療養施設の確保が必要であ

ることから、休止している那覇市の施設も早期再開が必要との意見があった。

→総括情報部から、速やかに看護師等のスタッフを確保し、早期の再開を目指す
と回答。

3 議題

(1) 感染拡大を抑え込むための対策について

感染拡大を抑え込むための対策について、子ども生活福祉部、商工労働部、文化観光
スポーツ部の対策をピックアップして説明。【別添資料 感染拡大抑制プロジェクト】

➤ 子ども生活福祉部から、「子ども生活福祉部感染拡大抑制プロジェクト」について
説明。

◆ 現状分析

- ✓ 高齢者・障害者福祉施設や保育所等においては、感染防止対策を徹底した上で事業を継続しているが、集団生活となる性質上、施設内感染が発生している。

◆ 問題点と課題

- ✓ 施設の性質上、感染者が発生した場合も事業を継続する必要がある。
- ✓ 夏休み中は、放課後児童クラブ等のニーズが高いため、当該施設での感染リスクが高まっている。
- ✓ 社会福祉施設等の職員でワクチン未接種者がいる。
- ✓ 家庭内感染により、濃厚接触者となった高齢者、子どもの受け入れ先の確保が必要。

◆ 対策のテーマと具体的取組内容

- ✓ 社会福祉施設等における感染対策強化策として、①保育所等における抗原簡易検査キットの導入及び PCR 検査の拡充、②標準予防策・感染防止対策徹底のためのリーフレットの配布、③感染防止 Web 研修会を実施する。

- ✓ ワクチン接種推進のために、①市町村に対する福祉施設等職員のワクチン優先接種の働きかけ、②ワクチン接種に関する正しい知識の普及啓発、③施設におけるワクチン接種にかかる医療機関のマッチング等の支援を実施する。
- ✓ 家庭内の感染防止対策として、家庭内における感染防止対策のチラシを施設の利用者及びその家族に対し配布する。
- ✓ 福祉施設に対する看護師派遣に向けて、関係部局と連携して取り組む。

➤ 商工労働部から、「商工労働部感染拡大抑制プロジェクト」について説明。

◆ 現状分析

- ✓ 県民においては、自粛疲れや緊急事態宣言危機感の薄れ等の理由により、特に若年層を中心に危機感を共有できていない。
- ✓ 国・県・市町村においては、人流抑制がうまくできておらず、認証店制度等の周知も不足している。
- ✓ 社会環境としては、休業要請に応じない飲食店の増加や、飲食店を起点とした感染拡大が見られる。

◆ 問題点と課題

- ✓ 企業経営者及び従業員等に危機感が十分に伝わっていないため、感染拡大制御ができていない。
- ✓ 県民（特に若年者）の飲食店利用を制御できていない。

◆ 対策のテーマと具体的取組内容

- ✓ 地域の産業を守るため、「感染対策にかかる情報周知を図る」ことで、人流を抑制し、早期の陽性者減を目指す。
- ✓ 具体的には、県・市町村・商工会・商工会議所・産業振興公社で構成されるチームによる、企業訪問等により企業経営者へ飲食店等の利用抑制、従業員の健康管理等について依頼する。また、チラシ、動画を作成し、商工会、商

工会議所会員へ周知を行う。

➤ 文化観光スポーツ部から、「水際対策強化プロジェクト」について説明。

◆ 現状分析

- ✓ 水際対策の効果を高める必要があることから、来訪者に対し、出発前の PCR 検査を求めている。
- ✓ 7/15 から国による沖縄路線航空便搭乗者への無料モニタリング検査が開始されている。
- ✓ 7/22 から那覇空港において、抗原検査（2,000 円）が開始されている。

◆ 問題点と課題

- ✓ 疫学調査結果に基づき、県民の出張や帰省など県民の往来に伴う感染リスクにも留意し、従来の観光客向けのアプローチに加え、県民への注意喚起やアプローチ強化が必要。
- ✓ 国による無料検査がモニタリング検査であり夏休み期間限定であること
- ✓ 国による無料検査の予約キャパが小さく搭乗者数に対する受検率が低迷していること。

◆ 対策のテーマと具体的取組内容

- ✓ エビデンスに基づいた「リスクの高い行為、リスクの高い場所を示しながら県民に対しても説得力を持ったアプローチ」を実施することで水際対策の効果を高める。また、出発地での事前の PCR 等検査の強化・徹底に取り組む。
- ✓ 具体的には、①県庁ライトアップ、プロジェクションマッピングによる、行動抑制、リスク管理の周知・広報、②県人会、県内企業等に対する、帰省・出張等のリスクに関する周知、③出発地での事前の PCR 等検査について、無料検査の継続・制度化や予約枠の拡充を国への要請等を実施する。

➤ 文化観光スポーツ部から、「県内プロスポーツ選手による【緊急共同メッセージ】の発信」について説明。

◆ 現状分析

- ✓ 県民のスポーツを楽しむ機会が失われ、プロスポーツチームにおいても県内で実施されるリーグ戦等が無観客試合が続いている。

◆ 問題点と課題

- ✓ 県民がスポーツを楽しむことができる日常を取り戻すため、早期に感染拡大防止対策に取り組む必要がある。

◆ 対策のテーマと具体的取組内容

- ✓ 県民の命や健康を守り、一日も早く新型コロナウイルス感染症拡大の収束を図るため、県内プロスポーツ選手から【緊急共同メッセージ】を発信し、県民の皆様に対し、徹底した感染拡大防止や積極的なワクチン接種を呼びかける。
- ✓ 具体的には、FC 琉球、琉球コラソン、琉球アスティーダの選手の SNS を活用し、感染拡大防止のための緊急共同メッセージを発信するほか、県公式 YouTube チャンネル、OCVB や各プロスポーツチームの Web サイト等に掲載する。

(2) 沖縄県対応方針の変更について

➤ 総括情報部から、沖縄県対応方針の変更について説明。

◆ 県内の現況について次の内容を記載し、注意喚起を行う。

- ✓ 8/10 時点で実効再生産数が 1.52 となっており、先週に比べて勢いを落としているものの、感染拡大は続いている。
- ✓ 県内で流行しているデルタ株は、従来株の 2 倍、インフルエンザの 3 倍の感染力がある。
- ✓ 感染者の半数を 20 代～30 代が占めており、若い世代でも酸素投与が必要にな

る状態まで悪化する。

- ✓ 医療のひっ迫により、入院調整が困難になっているほか、外来診療も制限が行われている。
- ◆ 県民に対する要請内容に次の事項を追加。
 - ✓ 今年の旧盆は電話やオンラインを活用し、親戚訪問を控え、会食は同居家族のみで行うこと。
- ◆ 学校の部活動にかかる要請内容を修正。
 - ✓ 学校の部活動は原則中止。ただし、九州・全国大会に派遣されるチーム及び九州・全国大会の予選を兼ねる県大会に出場するチーム等に限り、大会の2週間前から、学校長の許可の下、2時間以内、必要最小限の人数で行うことができる。
- ◆ 県の取組について、次の内容を追加。
 - ✓ 人流を抑制するため、県立施設を8/31まで休館する。
 - ✓ 沖縄県新型コロナワクチン接種基本方針に基づき、8月末までに全住民の50%の1回目接種を、10月末までに70%の1回目接種の完了を目標に、市町村のワクチン接種に対する支援、新型コロナワクチン接種センターの設置・運営、職域接種の推進等を実施する。
 - ✓ 感染拡大等抑制プロジェクトを全庁をあげて実施する。
 - ✓ 入院病床について、重点医療機関等に要請し753床を確保しており、更なる確保を進めている。
 - ✓ 中部地区の宿泊療養施設の運営を8/12より開始
 - ✓ 全国へ医療人材の派遣を要請中。

(議題(1)及び(2)に関する発言等)

- ✓ 県内プロスポーツ選手による緊急共同メッセージについては、若年層への訴求力が

期待できるため、若年層向けのメッセージの検討をしてほしいとの意見があった。

→文化観光スポーツ部から、若年層の行動変容を促すことが課題となっているため、そのためのメッセージ内容については重点的に検討すると回答。

- ✓ 県庁ライトアップ、プロジェクションマッピングの映像を県内メディアに提供し、各局の番組で活用していただけるよう要請してはどうかとの意見があった。

→文化観光スポーツ部から、県内メディアへ提供するための画像素材の作成を検討すると回答。

- ✓ 本部長から、ワクチン接種の正しい情報を簡潔に整理した資料を作成し、各部局が関係する団体等へ情報提供するよう指示があった。

- ✓ 現在のところ、大規模店舗に対する休業要請は 8/15 までとなっているが、その後の予定はどうなっているか質問があった。

→総括情報部から、8/15 までの状況を踏まえ、経済界の意見を確認した上で休業要請の延長を検討する予定であると回答。

- ✓ 入院待機ステーションの確保の状況について質問があった。

→総括情報部から、南部に 20 床の入院待機ステーションを稼働しているところであること、また、入院待機ステーションの拡充も検討しており、必要な看護師の確保を進めていることを説明。

- ✓ 病院敷地内への入院待機ステーションを設置の検討状況について質問があった。

→総括情報部から、病院敷地に新たに入院待機ステーションを設置するには 2 か月程度の時間を要することから、速やかに稼働が可能な既存の建物を活用した入院待機ステーションの確保を優先していることを説明。

→病院事業局長から、入院待機ステーションの稼働のためには看護師等の人員、機材等が必要になってくることから、各県立病院と検討を行うと説明。

- ✓ 看護師が不足しているが、県立看護大学の学生に協力してもらうことが可能か質問があった。

→総括情報部から、県立看護大の学生は必要な資格の取得前であることから、患者対応が困難であることを説明。

- ✓ 市町村から、住民に対する新型コロナ対策の啓発について、全市町村で統一した内容にすることが望ましいとの意見があったことについて質問があった。

→企画部から、保健医療部と調整の上、統一的なガイドラインを各市町村へ示す予定であることを説明。

- 最後に、感染拡大を抑え込むための対策として、各部局発案の感染拡大抑制等プロジェクトについて全庁をあげて取り組むことを確認した。
- また、沖縄県対処方針の変更について提案内容のとおり決定した。
- なお、8/15以降の大規模店舗に対する休業要請については、経済界の意見も踏まえた上で、改めて検討することを確認した。

4 その他

特になし。

5 閉会